

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
国際航空専門学校	昭和55年3月28日	猪掛 隆	〒359-1131 埼玉県所沢市久米354 (電話) 04-2923-1318			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人浅野学園	昭和56年3月25日	中井 眞一郎	〒359-1131 埼玉県所沢市久米354 (電話) 04-2923-1318			
目 的	学校教育法の規定に基づく専門課程を置く専修学校として、航空機の地上取扱に関する専門技術を教授するとともに、社会人として必要な教養を与え、もって優れた航空技術者を養成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	専門課程	工学部	2年(昼)	2,832時間	平成15年文部科学省告示第18号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,532時間	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1,300時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	59人	7人	2人	9人		
学期制度	■1学期：4月10日～7月24日 ■2学期：8月21日～12月22日 ■3学期：1月11日～3月19日			成績評価	■成績表 (有)・無) ■成績評価の基準・方法について	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月9日 ■夏 季：7月25日～8月20日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月20日～3月31日			卒業・進級条件		
生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡、家庭訪問等			課外活動	■課外活動の種類 体育祭 ■サークル活動 (有)・無)	

<b>就職等の状況</b>	<b>■主な就職先、業界等</b> グラント・ハンドリング業務 航空機燃料給油 空港保安業務 <b>■就職率<sup>※1</sup>100% (43/43)</b> <b>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup></b> 93.4% (43/46) <b>■その他 (任意)</b> 進学希望者 46名中3名 (平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の 情報)	<b>主な資格・検定</b>	大型特殊・牽引免許 航空特殊無線技士 危険物取扱者 TOEIC
<b>中途退学の現状</b>	<b>■中途退学者 3名 ■中退率 4.9%</b> 平成28年5月1日在学者 61名 (平成28年4月入学者を含む) 平成29年3月31日在学者 58名 (平成29年3月卒業生を含む) <b>■中途退学の主な理由</b> 進路の方向転換 <b>■中退防止のための取組</b> 担任、教務部長、校長による面談、保護者との連携、カウンセリング等。		
<b>ホームページ</b>	URL: <a href="http://www.asano-kac.ac.jp">http://www.asano-kac.ac.jp</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界団体との意見交換を行うことで、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む。また、業界が新たに必要とする実務に関する知識及び技術や技能を把握・分析した上で、今後の専門課程の授業内容・方法の改善を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 29 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
中満 悦郎(関係施設役員)	社団法人日本航空技術協会 事務局長
大森 欽仁(業界団体)	株式会社 JAL エンジニアリング 人財開発部 訓練グループ グループ長
安斎 俊晴(業界団体)	全日本空輸株式会社 整備センター教育訓練部 基礎教育チーム 主席
森田 力(業界団体)	株式会社 JAL グランドサービス安全品質・業務部安全品質推進グループ課長
小澤 洋(業界団体)	朝日航洋株式会社 航空事業本部 川越メンテナンスセンター センター長
猪掛 隆	国際航空専門学校 校長
後澤 進次	国際航空専門学校 管理本部長
山田 知良	国際航空専門学校 教務部長
岩田 高廣	国際航空専門学校 教務部次長
池上 和則	国際航空専門学校 エアロサポート科学科長
阿部 芳恵	国際航空専門学校 管理本部

(開催日時)

第 1 回 平成 28 年 5 月 11 日 12 : 00~15 : 00

第 2 回 平成 29 年 2 月 15 日 12 : 00~15 : 00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

エアロサポート科においては、1 年次にエアライングループのグランドハンドリング会社に出向き、航空機への貨物・手荷物の搭載、取り卸し業務、客室クリーニング業務等の実務研修を実施している。また、学校および研修先企業において、業務に必要な安全教育、コンプライアンス教育等の座学教育について実施している。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
エアロサポート科	航空機への貨物・手荷物の搭載、取り卸し業務、客室クリーニング業務等の実務研修	株式会社 JAL グランドサービス

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)  
指導力の修得・向上

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 29 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
中満 悦郎(関係施設役員)	公益社団法人日本航空技術協会 事務局長
森本 健(業界団体)	株式会社 JAL エンジニアリング 総務部 総務グループ長
奥西 武志(業界団体)	全日本空輸株式会社 整備センター業務推進部 担当部長
蟹江興太郎(業界団体)	株式会社 JAL グランドサービス 総務部 人事教育グループ長
山崎 一慶(本校卒業生)	多摩川エアロシステムズ株式会社 整備部 副部長
吉田 淳一(業界団体)	朝日航洋株式会社 航空事業本部 整備統括部長
山下 奉利(有識者)	国際航空専門学校 監事

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.asano-kac.ac.jp> 平成 29 年 6 月ホームページに公開

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

学校ホームページ

URL: <http://www.asano-kac.ac.jp>

広報紙、学校説明会等

授業科目等の概要

(工業専門課程エアロサポート科) 平成 29 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			航空概論 (1) 航空概論	航空全般の基本知識。特に地上支援業務に必要な知識を習得する。	1・2 学 年	100		○		
○			航空概論 (2) 航空工 学	航空機の構造、発動機、空を飛ぶ原理など。	1・2 学 年	140		○		
○			航空概論 (3) 法規(電 波・航空)	航空法概要。航空機の安全性、環境対策等。	1 学 年	30		○		
○			機械工学(1) 機械基礎	機械工学の基礎を学ぶ。	2 学 年	40		○		
○			機械工学(2) 自動車工学	空港内で使用する特殊車両の学習。エンジ ン、燃料装置、電気装置など。	2 学 年	40		○		
○			航空支援業 務(1) 空港 概論	空港機能と地上支援業務の概要を学ぶ。	1 学 年	80		○		
○			航空支援業 務(2) 航空 貨物輸送	航空貨物輸送の学習を通じ、航空機の運航 のアウトラインを理解する。	1・2 学 年	120		○		
○			航空支援業 務(3) 空港 地上サービス	航空輸送の特性と、旅客運送サービス客室 サービス、マーシャリングについて学ぶ。	1・2 学 年	120		○		
○			航空支援業 務(4) 特殊 車両	TT 車、フォークリフト、ハイリフト車など の構造、用途などを理解する。	1 学 年	20		○		
○			航空支援業 務(5) 安全 衛生	安全意識、事故防止、救急処置等について の一般知識習得。	1 学 年	20		○		

○		一般教科 (1) 英語	基本航空英語の学習。	1・2 学 年	180		○		
○		一般教科 (2) 品質管理	品質管理の基礎、航空機整備の品質管理。	2 学 年	20		○		
○		一般教科 (3) 一般教養	変化に対応出来る、合理的考え方とバラン ス感覚に優れた人材養成。	1・2 学 年	160		○		
○		一般教科 (4) 英検・TOEIC 指導	AVIATION ENGLISH の学習により TOEIC SCORE UP	1・2 学 年	240		○		
○		一般教科 (5) 接客・接遇	手荷物受託、手荷物の取扱い、手荷物の流 し方など、接客、接遇の基本を学ぶ。	1・2 学 年	150		○		
○		試験		1・2 学 年	72		○		
○		基本技術実 習 (1) 基本 技術 I	構造修理、パッチ当てなどの航空機整備作 業の基本技術を学ぶ。	1 学 年	60				○
○		基本技術実 習 (2) 基本 技術 II		2 学 年	50				○
○		機体実習 (1) 機体取扱 I	小型機を用い、航空機の取扱い、地上移動 などについて実習する。	2 学 年	40				○
○		地上サービス実 習	成田空港、羽田空港にて約一カ月企業研修 を行う。	1 学 年	100				○
○		校外実習	校外にて他のサービス産業の見学を行い 「おもてなし」の心を学ぶ。	2 学 年	150				○
○		特殊車両 (1) 一般車両実 習	座学で学んだ知識を実車にて安全運転が出 来るよう実習を行う。	1・2 学 年	120				○
○		特殊車両 (2) 特殊車両実 習	特殊車両について、座学で学んだ知識を実 車にて安全運転が出来るよう実習を行う。	1・2 学 年	180				○

○		特殊車両(3) 支援作業実習	搭載、誘導、客室、機用品、機体、旅客の各支援作業を実習にて修得。	1・2 学 年	200					○
○		コンピューター(1) コンピューター基礎	ワード、エクセル等、パソコン操作の基本を学ぶ。	1 学 年	90					○
○		コンピューター(2) コンピューター応用	ワード、エクセル等、パソコン操作の基本を実際に操作し修得する。	2 学 年	100					○
○		接客・接遇 (1) 接遇基礎	「社会人基礎力講座」テキストを基に身だしなみ、マナー、挨拶の仕方を学ぶ。	1 学 年	120					○
○		接客・接遇 (2) 接客・接遇実習	同上	2 学 年	90					○
合計				28 科目	2,832 単位時間 ( 単位)					